

学会参加報告書

R21-071 堀本歩希

学会名：韓国放射線技術学会

2024年3月14日から3月16日に行われるソウル放射線技術学会に参加しました。3月15日に Samusung Medical Center(三星医療院)に訪問しました。韓国でビッグ5と呼ばれる五大病院の一つであり、あらゆる分野でアジアのトップに位置しています。地下5階から地上20階、病床数は1200を超える大規模な病院です。本館以外にも生命科学研究所や、陽子線治療センター等もあり一日では周り切れないほどでした。アメリカやヨーロッパ、アフリカの方からも三星医療院に医療を受けに来る人が多く、韓国語だけではなく英語で話してる人も多くいました。そのため三星医療院に従事している医療関係者の方はほとんど英語を話すことができました。病院においてある装置はどれも最新で島津製作所のポータブル撮影装置も置いてありました。

3月16日に Seoul Radiological Technologists Association 58th International Joint Conference に参加してきました。会場に着くとまず熱量に圧倒され世界各国から沢山の人が訪れていました。様々な医療メーカーが最新機器を展示しており装置を見るだけでも十分過ぎる程でした。研究発表では日本から参加者も数名か参加しており英語で発表を行っていました。一番驚いたのは、同じ大学生が大勢の人の前で研究発表していたことです。英語での質疑応答に動揺することなく対応していました。学会で発表したいと感じるとともに、英語力が足りないことを改めて痛感しました。しかし、英語で話そうとすると当然ながらうまく会話することができませんでした。その際、韓国の方にゆっくり簡単な英語で話すことを勧められ、文法を気にせずに単語並べて話すことができ、質問に答えることができました。簡単な英語でも相手に伝えようとする気持ちが大切だと思いました。今、コロナウイルスが落ちつき外国人観光客が増えつつあります。将来就職したとき外国人に対して完璧に伝えようとするのではなく簡単な英語やジェスチャーを使って伝えようと思いました。この度、ソウル放射線技術学会に参加するにあたり先生方、ソウル放射線技術学会の方たちに深く感謝申し上げます。

